

令和 5年度 自己評価のためのチェックリスト集計結果

このみ保育園

0歳児保育

◎・・・おおむね実践している ○・・・実践しようと心がけている △・・・実践できていない（努力が必要）

実施日 1 月

No.	チェック項目	◎	○	△
1	保育園の保育方針を理解していますか。	100%		
2	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	100%		
3	個人情報に関するマニュアルに基づき、子どもやその家庭についての情報を、漏らすことがないようにしていますか。	100%		
4	0歳から小学校までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか。	100%		
5	子ども一人ひとりの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう努めていますか。	50%	50%	
6	季節感や伝統行事など取り入れたり、子どもの意欲を誘う環境構成を工夫したりしていますか。	100%		
7	保育中も常に見られているという意識を持ち、私語を慎み、子どもの動きにすぐに対応できるような姿勢で保育に臨んでいますか。	100%		
8	日々の保育記録を子ども一人ひとりの発達理解に生かしていますか。	50%	50%	
9	子どもの生育歴を把握するとともに、保護者の状況などの背景も知っていますか。	100%		
10	一人ひとりの健康状態などを随時、職員相互で確認し合っていますか。	100%		
11	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、指導計画を立てて保育を進めていますか。	50%	50%	
12	授乳について、その子が欲しがる時にやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	100%		
13	（家では食べていても）保育園で初めて食べる食品を摂取した時は、皮膚や便の状態などに異常がないか観察していますか。	100%		
14	おむつ交換はやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便の状態を把握して臀部を清拭していますか。	100%		
15	子どもの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受けとめ、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	100%		
16	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか。	100%		
17	体を適度に動かす遊びや、リズムを伴ったふれあい遊びを十分に取り入れていますか。	100%		
18	絵本を見せながら、その子の指さすものに応えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやりとりを楽しむことができますか。	100%		

19	寝かせる場合には、仰向けにし、睡眠中の姿勢、掛け布団、呼吸等の確認（SIDS等の予防）をしていますか。	100%		
20	一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	100%		
21	身体計測や内科健診等の結果から発育・発達の状況を把握し、それを保護者や職員に伝え、日常の保育に生かしていますか。	100%		
22	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指示のもとに適切な対応をしていますか。			
23	保育室内外の安全点検を、毎日していますか。	100%		
24	地震や火災等の非常災害時や不審者侵入等の非常時に、何をしなければならないか理解していますか。またマニュアルを理解し時々読み返す等、意識をしていますか。	50%	50%	
25	どの保護者にも平等にすすんで話しかけ、育児の悩みや心配事を話せるくらいの信頼関係を築けるよう、心がけていますか。	100%		
26	園長や主査の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、質問をしたり意見を言ったりできますか。	100%		
27	職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言し、自分の意見と違う結論が出た時も、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	100%		
28	クラスの教材や備品を、責任をもって管理していますか。また、自分のクラス以外の教材・教具などを、自らすすんで整えることができますか。		100%	
29	その日の子ども一人ひとりの活動や姿をしっかり記録に留め一人ひとりの課題をみつけることができますか。（記入したメモ等ありますか。）	100%		
30	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つける機会を定期的に行っていますか。	50%	50%	
31	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	100%		

【結果・考察】

- ・No.5～8. 11・・・子ども一人ひとりの事を把握し、その子にあったかかわりや援助をすることが大切な年齢といえる。また、丁寧な個別の働きかけは複数担任の連携も重要である。個別の援助をする上でも担任同士の意見交換や情報の共有は常に心がけていきたい。
- ・No.24.・・・自然災害に備えてのマニュアルや危機管理の対応は園全体でも意識してどう動くのか？安全を確保して子ども達を守る手段・方法をクラス内でも話し合っておく必要があることを日頃から認識する。危機感には常に持ち合わせていなければならないので園全体の動きとクラス内での動きを話し合っておく。
- ・No.28・・・小規模園なので自分のクラス内の事だけではなく、全体の中の自分であることを意識して自ら進んで行くことは心がけたい。
- ・No.30・・・日々の中で自分の保育や行いの振り返りは必ず必要である。次により良い方向にするためにも、1日を振り返り見直していく。また、研修等に参加して、新しい知識を取り入れることで問題点も見えてくるので積極的に取り組みたい。

令和 5年度 自己評価のためのチェックリスト集計結果

このみ保育園

1・2歳児保育 ◎・・・おおむね実践している ○・・・実践しようと心がけている △・・・実践できていない（努力が必要）

実施日 1 月

No.	チェック項目	◎	○	△
1	保育園の保育方針を理解していますか。	80%	20%	
2	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	100%		
3	個人情報に関するマニュアルに基づき、子どもやその家庭についての情報を、漏らすことがないようにしていますか。	100%		
4	0歳から小学校までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか。	100%		
5	子ども一人ひとりの特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう努めていますか。	80%	20%	
6	季節感や伝統行事など取り入れたり、子どもの意欲を誘う環境構成を工夫したりしていますか。	80%	20%	
7	保育中も常に見られているという意識を持ち、私語を慎み、子どもの動きにすぐに対応できるような姿勢で保育に臨んでいますか。	80%	20%	
8	日々の保育記録を子ども一人ひとりの発達理解に生かしていますか。	80%	20%	
9	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、指導計画を立てて保育を進めていますか。	80%	20%	
10	「できない、やって!」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	100%		
11	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	100%		
12	偏食を直そうと、無理に食べさせようとしたり、残さず食べることを無理強いしたりせず、個々に合わせた量を配膳していますか。	100%		
13	「おや、何だろう?」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。	60%	40%	
14	保育者も一緒に楽しみながら自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか。	100%		
15	子どもの目線に合わせて話をゆっくり聞いて、話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	100%		
16	歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりするとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に楽しむことができますか。	100%		
17	寝かせる場合には、仰向けにし、睡眠中の姿勢、掛け布団、呼吸等の確認（SIDS等の予防）をしていますか。	100%		

18	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために日常的な体調や機嫌の状態をつかむように努め、さらに職員間で共有していますか。	100%		
19	身体計測や内科健診等の結果から発育・発達の状況を把握し、それを保護者や職員に伝え、日常の保育に生かしていますか。	60%	40%	
20	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指示のもとに適切な対応をしていますか。	100%		
21	保育室内外の安全点検を、毎日していますか。	80%	20%	
22	地震や火災等の非常災害時や不審者侵入等の非常時に、何をしなければならないか理解していますか。またマニュアルを理解し時々読み返す等、意識をしていますか。	80%	20%	
23	どの保護者にも平等にすすんで話しかけ、育児の悩みや心配事を話せるくらいの信頼関係を築けるよう、心がけていますか。	60%	40%	
24	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	100%		
25	園長や主査の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、質問をしたり意見を言ったりできますか。	60%	40%	
26	職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言し、自分の意見と違う結論が出た時も、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	60%	40%	
27	クラスの教材や備品を、責任をもって管理していますか。また、自分のクラス以外の教材・教具などを、自らすすんで整えることができますか。	60%	40%	
28	その日の子ども一人ひとりの活動や姿をしっかり記録に留め一人ひとりの課題を見つけることができますか。(記入したメモ等ありますか。)	40%	60%	
29	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つける機会を定期的に持っていますか。	60%	40%	
30	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	80%	20%	

【結果・考察】

- ・No.7.8.9・・・保育士の姿勢が、常に子どもたちに必要な援助がすぐにできる状態であるか、子ども達が意欲的に心地よく過ごせる環境が作れているか、複数担任での担任同士の連携はできているかなど、子どもに関わる「保育士」の姿、姿勢、人的な環境であることの意識等を一人ひとりが持っているか。日頃から自身の振り返りが必要なので心がけていく。
- ・No.28・・・子どもの様子をメモにとり、クラス内での周知や疑問点を話し合う。担任だけではなく職員間で共有しあい目線が変わった視点からの捉え方を考える機会にもなるので意識して行っていく。
- ・No22・・・緊急の自然災害や危機管理に対する対応マニュアルなどは日頃からどう動くのか、緊急時の対応をクラス内、園全体で考え共有しておくようにする。